



## エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束

平成23年5月18日

環境大臣 松本 龍 殿

株式会社 資生堂

代表取締役社長

末川 久幸

株式会社 資生堂は、関東地方および東北地方における昨年2010年7～9月の最大使用電力の合計10,900kW(国内事業所:自社ビルのみ)を、本年2011年7～9月は20%以上削減すべく、全社を挙げて以下の節電への取り組みを実施します。

一方で、社員の家庭における節電の取り組みも働きかけるとともに、お客さまに対しては、節電と快適さを両立できる美容情報などをご提案することで、今夏の一般家庭での節電を支援してまいります。

### 1. 工場等大口の対策

#### (1) 鎌倉工場・久喜工場

- 工場敷地内の建屋ごとに輪番停電を行い、工場全体の電力消費量を抑制します。
- 平日の稼働時間を早朝や夜間にシフトするとともに、土日祝日への振替により、ピーク時電力量を削減します。
- 5～6月への前倒し生産や、対象エリア外の工場への生産移管を行います。
- 昼夜の分割生産により、日中の電力消費量を抑制します。

#### (2) リサーチセンター(新横浜)(金沢八景)

- 空調用の氷蓄熱や恒温恒湿室の運転効率化により、電力使用量を抑制します。

#### (3) コンピューターセンター

- 非常用の自家発電機を活用し、平日9～20時に稼働させます。

#### (4) 湘南研修所

- 平日9～20時は、空調に使う冷凍機の追加稼働を中止します。

### 2. オフィス等の対策

- 部分的に蛍光灯を抜くなど照明の間引きを徹底して、電力使用量を削減します。
- 日本全国のオフィスビルで、クールビズの実施期間を拡大(5～10月)し、軽装の推奨と28℃の徹底により空調の使用量を削減します。
- 本社では、オフィス消灯時間(退社時間)を現行の22時から20時に繰り上げるとともに、朝型生活へのシフトを推奨する社員参加型運動「モーニングビズ」を展開することで、社員の働き方見直しによる節電に努めます。
- これらの取り組みを、東京電力・東北電力管内にとどまらず、全国の事業所に呼びかけ、全社を挙げて節電とCO2削減に取り組めます。

### 3. 社員の節電の取り組みの推進

- 社員に「家庭での節電」に関する情報を提供し、家庭での取り組みを呼びかけます。

### 4. お客さまの節電の取り組みの支援

- 「自社商品を活用し、節電しながら美しさ、快適さを保てる工夫」を積極的にお客さまに提案し、取引先とともにお客さまの日常生活における節電の取り組みを後押しします。